

芝浦工業大学 交換留学プログラム 参加後アンケート

海外派遣プログラムに参加したみなさまに、海外での経験を今後の学生に共有していただくため下記アンケートの記載をお願いしています。
記載いただいた内容は、芝浦工業大学のWebサイトやパンフレットに掲載いただくことがありますので、その前提でご記入をお願いします。
「留学するかどうか、もしくは留学先をどこにするか等、判断を迷っている後輩向け」という視点で記入をお願いいたします。

留学者情報			
・ 学籍番号	bq21044		
・ 氏名	相良 健太		
・ 学部	理工学研究科		
・ 学科(コース等)	システム理工学専攻		
・ 学年(渡航開始時)	修士1年		
・ ウェブ等への体験談掲載への同意	☒ 氏名も掲載してよい ☐ 学部・学科まで掲載してよい ☐ 完全匿名での掲載を希望		

留学先情報			
・ 渡航型/オンライン型	☒ 渡航型 ☐ オンライン型		
・ プログラムタイプ	☐ 授業履修型 ☒ 研究室配属型		
・ 国・地域名	ポーランド		
・ 都市名	ウツジ		
・ 留学先大学名	ウツジ工科大学		
・ 留学期間	☐ 3ヶ月未満 ☒ 3ヶ月～半年（1セメスター程度） ☐ 半年～1年（2セメスター程度）		
・ プログラム期間	プログラム開始時期 (2021年9月上旬等)	2025年4月	プログラム終了時期 (2021年9月上旬等)
・ 留学時期 (主に留学をしていた時期にチェックをお願いします)	☐ 1年前期 ☒ 修士1年前期 ☐ 1年後期 ☐ 修士1年後期 ☐ 2年前期 ☐ 修士2年前期 ☐ 2年後期 ☐ 修士2年後期 ☐ 3年前期 ☐ 博士以上 ☐ 3年後期 ☐ 4年前期 ☐ 4年後期		
・ 上記協定校を志願した理由を教えてください。	以前開催されたグローバルPBLに参加したことに加え、指導教員に紹介していただいた。西ヨーロッパの国に比べ、物価も日本と同等程度であることも決め手の一つであった。		
・ (研究室配属型のみご回答ください) 受入大学の指導教員をどのように探したか教えてください。(SIT指導教員の紹介等)	指導教員がかねてより交流のある教授をご紹介いただいた。また、自身の研究テーマに近いモバイルロボットを研究している先生であったため。		

留学中の学籍について	
・ 休学の有無	☐ 休学をした ☒ 休学しなかった
・ 休学せずに渡航した方は、休学せずに渡航できた理由を記載ください。(留学が必須の学科だった、必修科目が渡航時期になく単位も十分に取得しており、かつ指導教員の許可も得られ、就活前に帰国することができたため、等)	先取り授業で修士課程の単位を十分に取得できていたことに加え、必修科目をオンライン、オンデマンドで受講させていただいた。そのおかげもあり、就職活動前に半年間を確保して留学することができたため、非常に貴重な経験となった。

留学先での学習・研究状況

- 留学先での学習・研究状況につき、概要を記載してください。

研究室内サイエンスクラブ、スタートアップ企業および海外論文投稿に取り組んだ。サイエンスクラブではコンピテンシープロジェクトと呼ばれるプロジェクトに参加し、ヨーロッパローバチャレンジ(ERC)というロボットコンペティションに向けてモノづくりに取り組んだ。スタートアップ企業ではAGVの開発を行っており、設計担当として協力した。また、出国前に取り組んでいた自身の研究を英語論文として執筆し、論文投稿を行った。

- 授業を履修した場合、具体的な科目の情報教えてください。
(たくさん履修した場合は適宜追加して記載してください。また科目概要など、欄に収まらない場合は、適宜行の幅を大きくして記載してください。)

科目名①	Research and Development Project	単位数 (現地単位数)	30
科目概要	研究活動に対する科目。1セメスター程度の留学では、授業を履修する必要があり、研究開発の科目を選択した。座学を受けるわけでもなく、毎週のミーティングや最後のレポートなど通常の研究活動と同様。		
科目名②		単位数 (現地単位数)	
科目概要			
科目名③		単位数 (現地単位数)	
科目概要			
科目名④		単位数 (現地単位数)	
科目概要			
科目名⑤		単位数 (現地単位数)	
科目概要			
科目名⑥		単位数 (現地単位数)	
科目概要			

留学先での学習・研究以外の交流活動

- 交友関係、部活、サークル、日常生活などで特筆して後輩に伝えたいことを記載してください。

サイエンスクラブ「Team Raptors PL」に参加した。このクラブは主にポーランド人学生で構成されており、指導教員の紹介を通じて加入した。また、Erasmus交流コミュニティにも参加し、留学生同士の交流イベントに積極的に参加した。これらのイベントは、受け入れ先の学生やESN(Erasmus Student Network)が主催しており、低価格の国内旅行や放課後のパーティなど、さまざまな企画が実施されていた。

自由記述欄

- 留学で感じたこと等、自由に記載してください。
(当初の留学計画を達成していたか、新たな発見があったか、どのような苦労があったか、留学前に準備しておけばよかったと振り返って感じることはあるか、後輩へのアドバイス、等なんでも結構です。)

最も留学で苦労した点は、ポーランド語が分からないためスーパーの商品がわからなかったことである。滞在した寮は机や冷蔵庫、ベッドが与えられるのみで日用品や調理器具などは自身で用意する必要があった。そのため、スーパーやショッピングモールで買い揃える必要があるが、商品名を読めないことに加え、店員の方も英語を話すことができないケースが多いため苦労した。翻訳アプリやAIを利用して、商品名や質問文を翻訳することが必要になる。

留学計画については、現地のセメスターの始まりから渡航すべきだったと考えた。今回は日本のセメスター開始時期から渡航したが、すでに現地では学期が始まっており、参加したプロジェクトも留学生の交流会もすでに指導していたので途中参加となった。もしスタートから参加できていたら留学生とさらに交流の機会があったり、プロジェクトの初期段階にも関わられたりなど、ほかの経験もできたかもしれないと考えた。

留学手続き時に苦労した点

- 協定校への出願時に苦労した点や、後輩へのアドバイスがあれば記載ください。(提出すべき書類、準備が大変だった書類など)

1セメスター程度の留学であったため、大学側で学籍登録を行う必要があった。しかし、その登録サイトはErasmus学生向けというサイト名で、Erasmus学生ではない自分にとっては戸惑う点が多かった。さらに、研究留学のため「Research and Development」という科目を選択しなければならず、履修登録サイト上の科目名が「Research and Development in Chemistry」となっており、混乱を招いた。しかし、確認したところ両者とも特に気にしなくてよいとのことだった。
- ビザ申請など、渡航準備時に苦労した点や後輩へのアドバイスがあれば記載ください。(提出すべき書類、準備が大変だった書類など)
(渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。)

ポーランドへの学生ビザ申請にはLearning of Agreement (LoA) や大学の在籍証明書を提出する必要がある。LoAは受入先の電子署名か署名の原本が必要であるので、注意が必要である。また、修士1年の4月渡航は学部時にビザ申請を行う必要があり大学院の在籍証明書を発行できない。大使館にその旨を説明したうえで、大学院課に入学許可書を英語で発行を依頼した。結果、学部の在学証明書と入学許可書で対応していただいた。そのほかにも年度を跨ぐ準備は保険契約などでも不便があるので、時間にゆとりをもって準備することが大事。
- その他、準備にあたり、後輩にアドバイスがあれば自由に記載してください。

現地だと購入が困難なものもいくつかあるので、気を付けた方が良い。マスクなどはドラッグストアでも購入ができなかった。

滞在先の宿泊施設などの情報 (渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。)

- 宿泊先のタイプを教えてください。(協定校の寮、一般のアパート、ホームステイ等)

協定校の寮。ダブルルームでベッドと机が2つずつ。冷蔵庫が1つ。棚が複数。バスルームは3、4部屋6人で共有。キッチン、ランドリーは1フロアで共有。
- 上記宿泊先はどうやって手配しましたか？(出願時に協定校に依頼することができた、協定校から紹介してもらった、自分で探した、等)

受入先出願時に現地の国際部から手配していただいた。
- 現地空港到着後、どうやって上記宿泊先に向かいましたか？
交通手段や所要時間を教えてください。

鉄道やバス、トラムなどの公共交通機関
- 上記宿泊先から日々協定校へはどうやって通学していましたか？交通手段や所要時間を教えてください。

徒歩10～15分程度
- 上記宿泊先の様子を教えてください。広さ、住心地等。

施設は比較的清潔で、キッチンは清掃員が毎日掃除してくれる。一方、部屋やバスルームは学生自身で掃除を行う必要がある。部屋は狭くはないが、新しい設備というわけでもない。

留学中の費用や奨学金等（渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。）

概算で結構ですので、参考までに記入してください。

初期費用

内訳	金額(円換算概算)	概要
協定校へ支払った費用 (授業料、初期登録費用等あれば)	¥0	
往復航空券代(往復)	¥250,000	往路:150000, 復路:100000
海外旅行保険・危機管理費用 (全期間分)	¥101,970	
その他費用(ビザ申請、パスポート取得費等、英語試験受験料等)	¥40,000	寮へのデポジット(退寮後返却)
計	¥391,970	

1ヶ月あたり費用

内訳	月額金額	概要
宿泊費/月	¥20,000	夏季休暇中は21,200円
食費/月	¥40,000	基本は自炊、たまに外食
その他/月	¥30,000	日用品や生活用品の購入
計	¥90,000	

奨学金情報

奨学金名	月額金額	概要
芝浦工業大学海外留学奨学金	¥90,000	
計	¥90,000	

写真共有のお願い（渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。）

留学中の様子が分かる写真を4枚ほど共有ください。またそれぞれの写真に説明分を加えて下さい。
写真はそのまま掲載しますので、掲載してもよい写真を貼り付けてください。

大学のシンボルとなる建物の写真等をお願いします



説明文

活動していた建物です。中は広いワークショップ室とカンファレンスルームがあり、本格的な機械加工が行えます。

宿泊先の様子が分かる写真等をお願いします



説明文

滞在した寮は17階建ての13階で、窓からの眺望がきれいでした。運よくルームメイトがおらず、一人で滞りました。

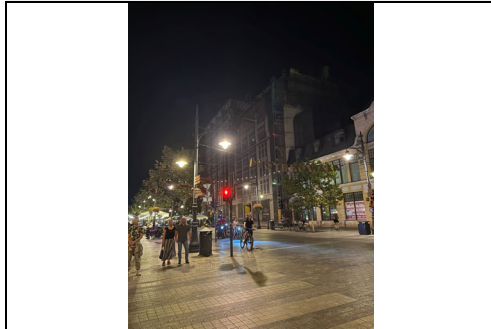
その他、任意の写真



説明文

ERCでのチームメイトとの写真です。

その他、任意の写真



説明文

ウツジには長いメインストリートが通っており、そこで食事やショッピングを楽しむことができます。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。